

第21回 OCT校友会 ビジネスサロン開催！のご案内

～令和6年度 文科省委託事業 実証講座 です！～

拝啓 梅雨明けの暑さが厳しさを増す中、ますますご清栄のことと思います。
日頃は校友会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本校は文部科学省委託事業「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」を受託しております。副校長をはじめ OCT 教員や校友会常任理事が委員を務めての開催となります。これを受けて校友会としてその事業一環である実証講座を「第21回ビジネスサロン」として下記の通り開催いたします。

本講座は、建築技術者・技能者を対象に受講者を募り、反復学習を基本に、オンデマンドによる教材視聴を通して、スマホを使いこなせるスキルの習得、ネット社会を正しく理解し Web 検索や Web アプリケーションを上手に使いこなして、新しい技術・便利さを自分たちの仕事や生活に積極的に取り入れるマインド育成を目的として進めてまいります。校友会会員には目から鱗かも知れない、もってこいの企画となっており、現代情報社会を理解する良い機会と存じますので、万障繰り合わせ上ご参加下さるようご案内申し上げます。

敬具

令和6年7月吉日

OCT 校友会 ビジネスサロン担当
広報渉外委員長 木谷 正

記

- 日 時：令和6年8月21日(水) 18:30～
- 場 所：大阪工業技術専門学校 6号館2F 621 教室
- 参加費用：無料(20名程度)
- 講 師：岡山保美先生(株式会社ユニバーサル・サポート・システムズ代表取締役)
- プロフィール・講義内容：次ページを参照下さい

以上

※参加希望者は、下記の申込書に記載のうえ、8月2日(金)までにご返送願います。

第21回ビジネスサロンに(参加)を致します。

氏 名： _____ 卒業学科： _____ 卒業年度： _____
電 話： _____ メールアドレス： _____

※参加希望者には校友会より情報配信等を致しますので、メールアドレスは送受信が可能なアドレスをお願い致します。

- 申込・問合せ：大阪工業技術専門学校 校友会 事務局 木口特次 大塚悦子
TEL:06-6352-0091 FAX: 06-6352-0135 E-mail : kouyukaijim@oct.ac.jp

岡山保美先生のプロフィール

株式会社ユニバーサル・サポート・システムズ代表取締役 1950年三重県生まれで、中学校から大阪で育ちました。大学卒業後、学校法人日本情報学園というコンピュータの専門学校の教員になり、約20年後に理事長に就任し、その10年後に河合塾グループに移管される事となった。河合塾グループの株式会社KEIアドバンス(大学にインターネット出願サービスを提供し、現在までトップシェアを保っている)の社長・会長を経て、2015年より株式会社ユニバーサル・サポート・システムズ(専門学校でもインターネット出願システムを開発し、2016年からサービスを提供)の取締役を経て代表取締役に就任、現在に至る。



また、福田学園にも本システムを導入すると同時に、評議員も務めておられます。

- ①【キックオフ講座(対面)】 8/21(水)18:30より 621 教室で対面にての開催
本講座の概要、その他初期設定についての説明をします。(60~90分程度)
 - ②【オンデマンド講座(自宅でも可能)】 モバイル端末活用入門・基礎・発展講座
スマホを使いこなすスキルの習得を目的とした録画視聴及び確認テスト及び終了テストの実施
 - ・スマホ入門講座 : 5本の動画(10分程度)と確認テスト5本、終了テスト1本
 - ・スマホ基礎講座 : 5本の動画(10分程度)と確認テスト5本、終了テスト1本
 - ・スマホ発展講座 : 5本の動画(10分程度)と確認テスト5本、終了テスト1本合計:15本の動画と確認テスト15本、終了テスト3本
 - ③【オンデマンド講座(自宅でも可能)】 情報化社会の進展との関わり方講座
ネット社会を正しく理解し、Web 検索や Web アプリケーションを上手に使いこなして、新しい技術・便利さを自分たちの仕事や生活に積極的に取り入れるマインド育成を目的とした10分程度の録画視聴と確認テスト及び終了テストの実施。
合計:動画9本、確認テスト:Google Form9本、終了テスト:Google Form1本
- ※ テストは何度でも視聴が可能で必要が無いと思う動画はパスしてOKですが、確認テストと終了テストの回答をお願いします。
- ④【ワークショップ(対面)】 9/21(土)13:00~621 教室で対面にての開催
上記①~③を踏まえた上で、グループ活動でのスマホを利用した情報共有の方法やリモート会議のやり方、また情報の検索等を実践してみる。
例えば、eYACHO の利用方法など